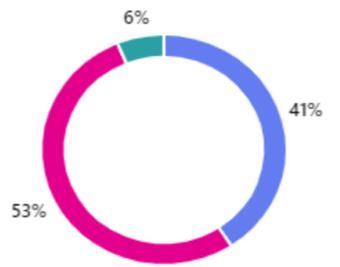
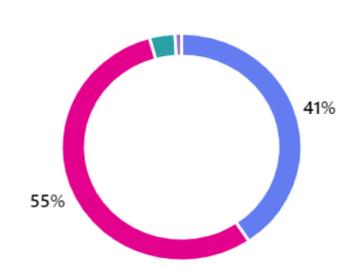
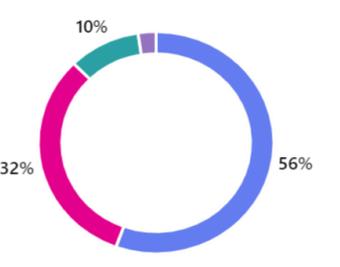
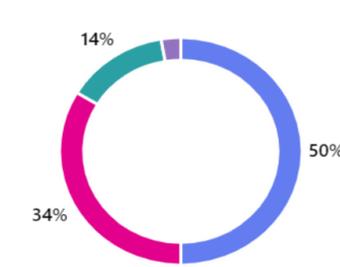
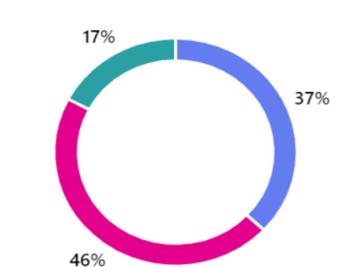
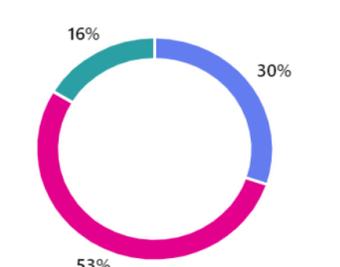
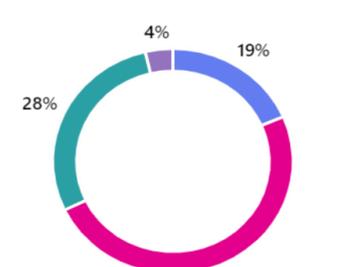
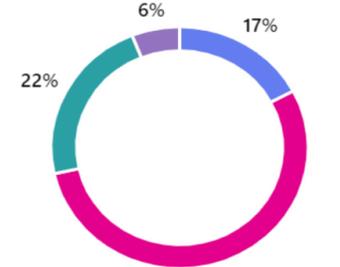
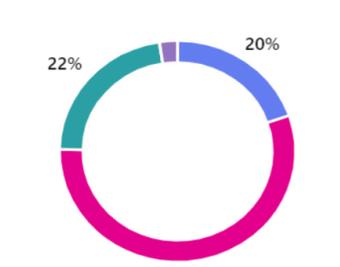
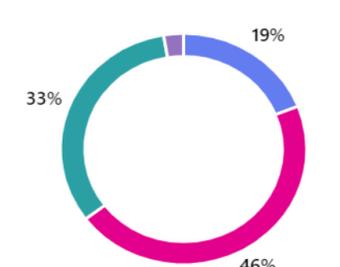
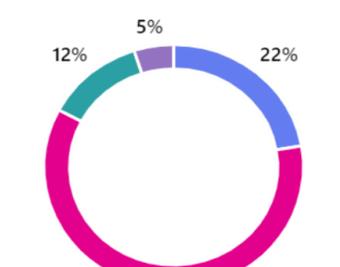
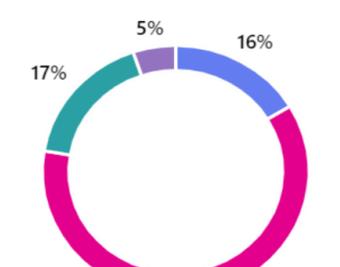
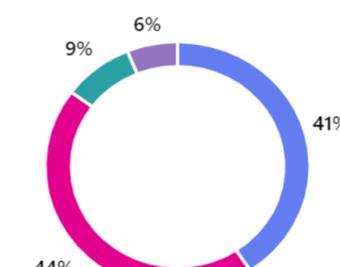
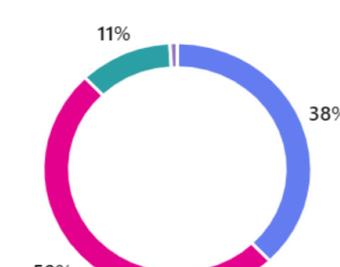
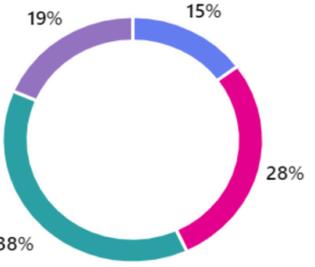
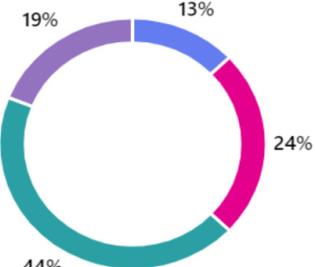
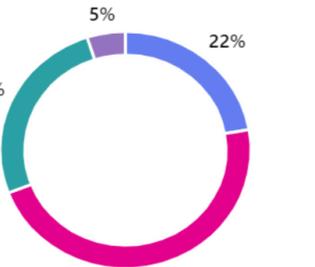
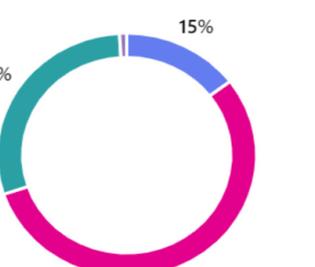
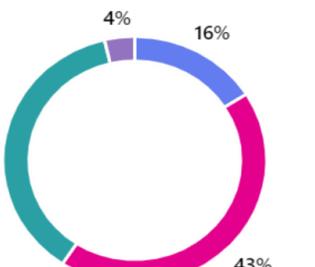
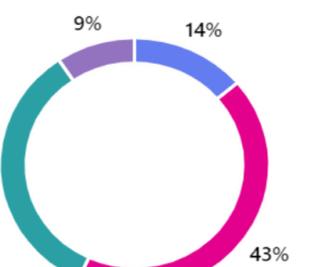
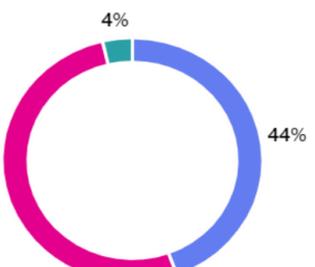
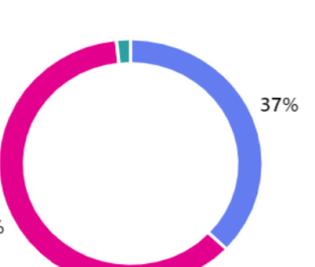
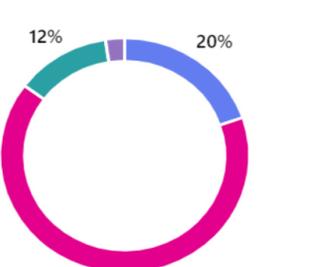
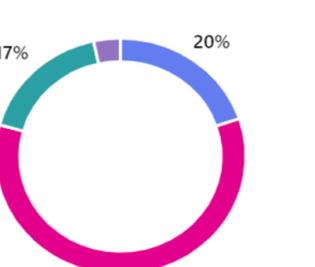
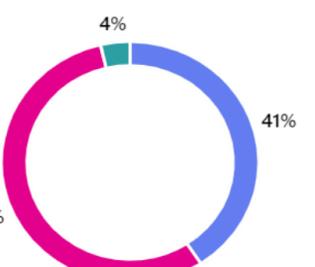
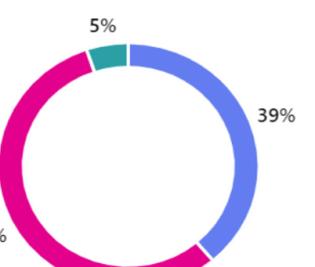
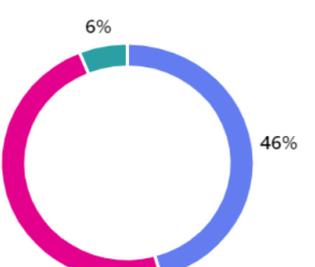
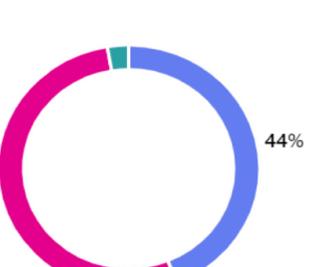
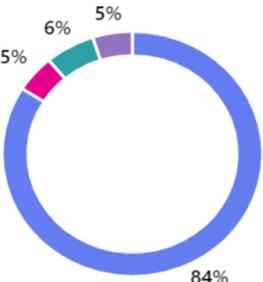
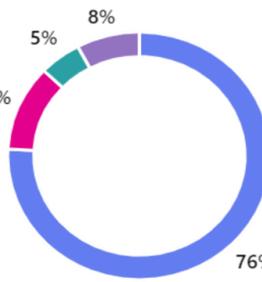
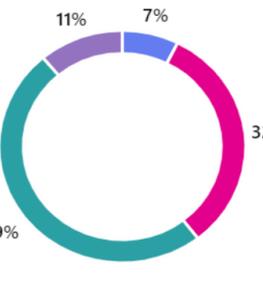
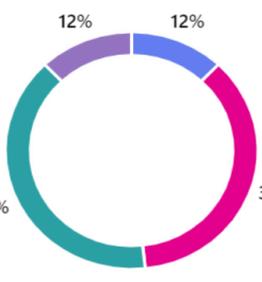
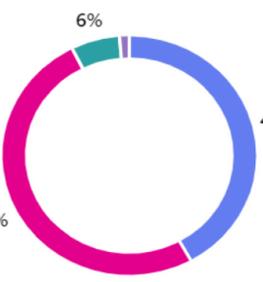
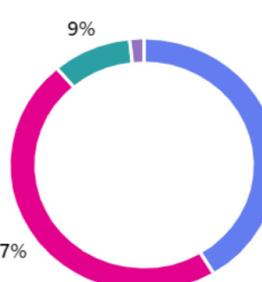
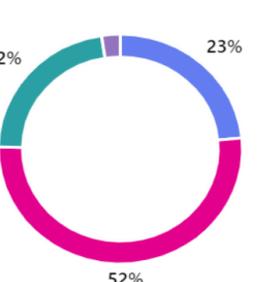
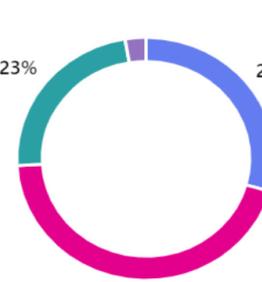
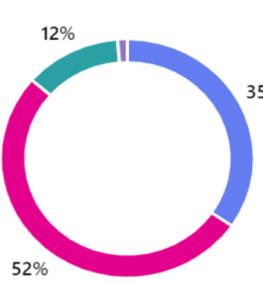
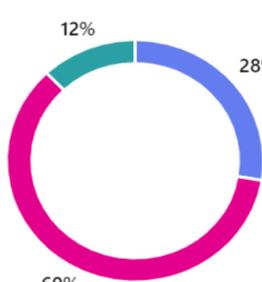
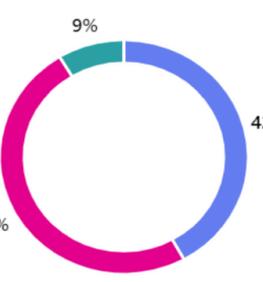
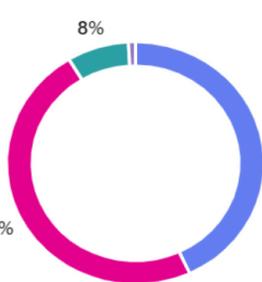
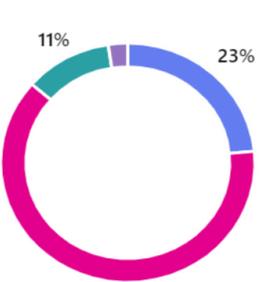
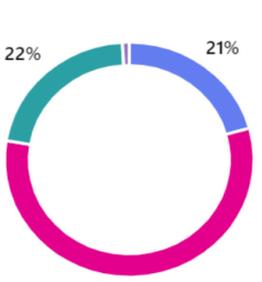


質問項目	1学期末	2学期末	コメント
2 お子さんに、他者に対する思いやりや優しさが育っていると感じる。			<p>・若干ではあるが、他者に対する思いやりや優しさを実感できる保護者が増えている。</p>
3 お子さんは、学校の行事(運動会や文化祭など)を楽しみにしている。			<p>・事前事後でほぼ変わらない。若干、生徒の行事に対する意欲等を感じない保護者もいる。</p>
4 日頃の何気ない会話の中で、お子さんと将来のことや学習することの大切さについて話し合っている。			<p>・家庭での保護者と生徒の将来のことや学習のことについての話し合いの状況はほぼ変わらない。</p>
5 高萩中には、お子さんの悩みや相談に親身になって応じてくれる先生がいる。			<p>・若干ではあるが、職員が親身になって操舵してくれていると感じている保護者が増えている(68%→71%)。 → 今後も生徒の気持ちに寄り添った指導を継続し、生徒、保護者から信頼される教員を目指し、研鑽を積むことが大切。</p>
6 お子さんと、SOSの出し方や相談する方法等があることについて話をしている。			<p>・家庭でSOSの出し方や相談する方法について話をしていると感じている保護者が減少している。保護者に向けての啓発が必要である。</p>
7 学校は、お子さんにとって、安心して学べる場になっていると感じる。			<p>・安心して学べる学校となっていると感じている保護者が、82%から77%に減少した。 → 生徒が安心して学べる学級づくり・学校づくりを推進することが必要である。(互いに認め合う心の育成等) よりよい学校づくりを進めるために、生徒会を中心に生徒同士で考える場を設定するとともに、生徒、教員の話し合いの場を設けるなど、生徒、教員がともに成長できる学校づくりを進めていく。</p>
8 お子さんの好きな教科や頑張っている教科を知っている。			<p>・生徒の頑張りに気付いている保護者が若干ではあるが増加した。</p>

質問項目		1学期末	2学期末	コメント
9	お子さんは、自ら進んで家庭学習に取り組んでいる。			・家庭学習への取組ができていないと感じている保護者が増加した。 → 家庭学習を促す取組が必要。強制的な宿題ではなく、家庭学習に取り組んだことを賞賛する機会を検討し、家庭学習の必要性について生徒に考えさせる。
10	ご家庭では、お子さんと学習の話をする時間をつくっている。			・保護者と生徒で学習の話をする場については、おおむね変化はない。
11	お子さんの単元テストの目標や結果などについて日頃から確認し、励ましている。			・単元テストの取組について保護者から生徒への励ましについては大きな変化はない。 → 生徒の学習の様子について、保護者の関心を高める工夫が必要。
12	お子さんは、友達など相手の気持ちを大切に生活している。			・おおむね保護者は生徒が友達などの気持ちを考えて生活していると感じている。
13	お子さんは、日頃から、感謝の気持ちを相手に伝えることができる。			・多くの生徒は、感謝の言葉を言葉にして伝えることができている。一方で、感謝の気持ちを伝えられない生徒が一定数いられる。
14	お子さんは、どんなことがいじめになるのかを理解して行動している。			
15	お子さんと日頃から学校や社会のルールや公共の場でのマナーなどを守るよう話をしている。			

質問項目		1学期末	2学期末	コメント
16	お子さんは、毎日、朝食を食べてから登校している。			<p>・朝食を食べずに、学校に登校した生徒が増えてきた。 → 学校における食育の推進及び家庭への啓発を継続する。</p>
17	お子さんは、身の回りの整理・整頓を行っている。			<p>・家庭でも身の回りの整理整頓を心がける生徒が若干ではあるが増えた。</p>
18	お子さんには、日頃からあいさつの大切さについて話している。			<p>・各家庭でおおむねあいさつについては意識している。本校の世路とのよさの一つに、元気なあいさつができることがあげられていることから、今後も、家庭と学校が一体となって、あいさつ日本一を目指して声をかけていきたい。</p>
19	ご家庭で、スマホやゲームなどの使用について、お子さんと話し合ってルールを決めている。			<p>・家庭でのルールづくりを進めている家庭が増えている。一方で、ルールづくりに消極的な家庭が一定数見られる。生徒及び保護者への啓発を継続する必要がある。</p>
20	ご家庭で、学校のルールや社会のルールを守ることの意義について、お子さんと話している。			<p>・書く家庭でルールを守ることについて、家庭で話している。一方、それらについてあまり話をしていない家庭が一定数いる。</p>
21	お子さんに、家庭で日頃から登下校中の交通安全など安全に対する意識付けや危険を回避しようとする意識付けをしている。			
22	家庭への連絡や情報の発信(各種たより、ホームページ等)により、学校の様子がわかる。			<p>・各種だよりやHP等によって、学校の様子を発信しているが、保護者にとってはわかりにくいと感じている可能性がある。</p>

諮問項目		1学期末	2学期末	コメント
23	進路だよりや各種たより及び資料等により、進路情報や保健、給食などの情報を得ることができている。	<p>10% 23% 64%</p>	<p>16% 22% 60%</p>	・今後も、保護者にとってわかりやすい形となるよう紙面等を工夫し、情報提供できるようにする必要があります。
24	PTAやコミュニティ・スクールなどによる家庭科ボランティアやクリーン作戦などの学校への支援活動に参加したい。	<p>17% 42% 38%</p>	<p>19% 6% 42% 33%</p>	・学校でのボランティア活動に参加してみたいと考えている保護者が増えてきている。今後も、授業支援ボランティアなど募り、参加を呼びかけていく。